

令和7年度 藤崎台保育園 事業計画

1、 保育の運営

近年、当園においても子どもたちの様子が顕著であり、その顕著さに対応すべきスキルが必要となってきました。子どもの保育はもちろん、一人一人の保護者と対話を重ねコミュニケーションをとり信頼関係を結んでいけるように、全園児の保護者との個別面談を昨年からは始めています。また、7年度からは、入園が決まった子どもたちの慣らし保育を保護者同伴で進めていきたいと思っています。理由としては、保護者と保育士が話している姿を見て安心してすごしていけるような場所だということを感じていきたいと思ったからです。保護者にも保育園がどんなところなのかを感じて欲しいという思いです。

2、 保育推進

(1) 基本理念

- ・ 一人一人の子どもが元気な体と心が育まれる保育園
- ・ 個人の成長と集団としての活動の充実を図る
- ・ 保護者と地域、職員で協力しながら、信頼される保育園をめざす

(2) 保育方針

- ・ 子どもの生活・情緒の安定を図りながら、自分でしようとする気持ちを尊重する
- ・ 子どもを温かく見守り、愛情豊かに応答的に関わっていく
- ・ 人と関わることの楽しさや、人の役に立つ喜びを育む
- ・ 家族の愛情に気付き、家族の愛情を大切に使用とする気持ちが育つようにする

(3) 保育目標

- ・ 自分の気持ちを伝え、相手の話も聞く
- ・ 保育園での決まりを知り約束をまもる
- ・ 興味のあることを経験し楽しむ
- ・ 生命を大切にし、公共心、探求心等を養う
- ・ 食の大切さを知り興味関心を持つ
- ・ 異年齢児との関わりを通して、生きる力を育む

(4) 開所時間

- ・ 月曜～金曜日 午前 7 時～午後 7 時
- ・ 土曜日 午前 7 時～午後 6 時

(5) 保育時間

	利用時間	延長時間
標準時間 月曜～金曜日	7:00～18:00	18:01～19:00
土曜日	9:00～18:00	
短時間 月曜～金曜日	9:00～17:00	7:01～9:00
		17:01～19:00
土曜日	9:00～17:00	

(6) 定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
8名	13名	13名	13名	12名	12名	71名

【3月現在】

(7) 職員数

◇ 園長	1名	看護師	1名
◇ 主任	1名	管理栄養士	2名
◇ 主任参事	1名	調理師	1名
◇ 副主任	1名	事務	1名
◇ 保育士	10名	子育て支援員	1名

(8) 保育内容

乳児期・・・「養護」・ 生命の保持
・ 情緒の安定

「三つの視点」

- ・ 健やかに伸び伸びと育つ
- ・ 身近な人と気持ちを通じ合う
- ・ 身近なものに関わり感性が育つ

※個々の子どもたちの発達の連続性を丁寧に保障していくこと

※情緒の安定を1番に考えた保育

1歳以上3歳未満児：「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」

保育士の愛情豊かな応答的に関わりが大切

保育士の配慮

3歳以上児：「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」

充実した活動ができるように、保育士は「心情、意欲、態度を身に着ける」

ためからこの部分も含め「資質、能力の3本の柱を育む」

※「三つの視点」で教育及び保育のねらいと内容を示す

【健康】

- ・ 戸外遊びを多く取り入れ、体力をつけていく
- ・ 食べることを楽しみ、食べ物への興味関心を持つ
- ・ 生活に必要な習慣や態度を身につけ、見通しを持って行動する

【人間関係】

- ・ 自分でできることは自分でする
- ・ 自分の思ったことは相手に伝え、相手の思いにも気づく
- ・ 友だちの良さに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう
- ・ 良いこと、悪いことに気づき行動する
- ・ 思いやりを持つ
- ・ 生活する中での決まりの大切さに気づき、守ろうとする
- ・ 地域の人びとに親しみを持つ

【環境】

- ・ 自然に慣れ親しみ生活に取り入れていく
- ・ 季節により自然や人間の生活に変化があることに気付く
- ・ 身近な事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ
- ・ 生命の尊さに気づき、労り大切にする
- ・ 身近なものを大切にする
- ・ 日常生活の中で数量・図形・標識・文字に関心を持つ

【言葉】

- ・ 自分なりに言葉でして欲しいこと、したいことを表現する
- ・ 人お話を注意して聴き、相手に分かりやすいように話す

- ・ 親しみを持って日常の挨拶をする
- ・ 絵本や物語などに興味をもち、想像する楽しさを味わう
- ・ 文字などで伝える楽しさを味わう

【表現】

- ・ 生活の中で五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）を楽しむ
- ・ 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする
- ・ 感動したことを伝えあう楽しさを味わう
- ・ いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ
- ・ 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったり楽しさを味わう
- ・ 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりして遊んだりする楽しさを味わう

これ以外に本園独自の「運動遊び」、「うた」を取り入れている。運動合遊びについては文部科学省の「幼児期運動指針」に、毎日60分以上身体を動かすことが大切と記載されていることも併せて計画している

【運動遊び】

- ・ 身体の動かし方・コントロールする力を育む
- ・ 瞬発力や柔軟性など身体能力を高める
- ・ 運動の楽しさや喜び、意欲を高める
- ・ 友だちと遊ぶことで協調性や社会性を培う

【うた】

- ・ 想像力や育むことに繋げていく
- ・ 音を体で表現していく
- ・ 曲のジャンルにこだわらず耳からの経験として親しむ
- ・ 季節の歌を知る、歌う

上記を踏まえ各クラスの年齢に応じた活動を行う。

※行事実行については、4歳児・5歳児による子ども会議を開き子どもたち一人一人の意見を聴きながら子どもが楽しめる行事にする。

例：子どもの日会、豆まき会、ひな祭り会などはゲーム・製作をしたい内容に分かれて行う。

運動会内容、発表会内容など

※全体的な計画作成⇒各クラス年間計画⇒月間計画⇒週案計画⇒日誌⇒個別を ICT 入力

※年間行事予定表（別紙参照Ⅰ）

(9) 健康支援

- ・ 健康状態並びに発育状態について、定期的・継続的にまた必要に応じて随時把握する
- ・ 登園及びお保育中を通じて子どもの状態を観察し、疾病が疑われる状態や傷害が認められた場合、看護師の専門性を生かした対応を図り保護者に連絡する
- ・ 不適切な養育の兆候が見られる場合には適切な対応を図る。虐待が疑われる場合は児童相談所に通告、適切な対応を図る

健康診断

【園児】

- 内科検診 年2回(4月、10月) 嘱託医いえむらクリニック
- 歯科検診 年1回(6月) 松岡歯科医院
- 身体測定 毎月 胸囲年3回(5月、9月、1月)
- 頭囲0歳児のみ 年3回(5月、10月、1月)

【職員】

- 健康診断 年1回(メディメッセ桜十字、済生会、日赤等)
- メンタルヘルスチェック 年1回
- 職員検便 調理従事者のみ毎月 ノロウイルス検便(10月~3月)
- ※保健計画 保健日より掲示

(10) 災害への備え(防災、防犯、安全管理)

- ・ 定期的に避難訓練を実施する(火災・地震・竜巻・不審者)
- ・ 交通安全教室の実施・交通安全訓練を伴う散歩
- ・ 幼年消防結成(4月)幼年消防修了式(2月)・・・4,5歳児
- ・ 防災備蓄の点検と充実
- ・ 遊具などの点検(毎週土曜日)
- ・ 固定遊具の専門家の点検(年1回)
- ・ 緊急時の対応の具体的内容及び手順、職員の役割分担、避難訓練計画作成
- ・ ケガ防止等に関するマニュアルを作成ヒヤリハット記録の活かし方(事故・ケガの記録)
- ・ ヒヤリハット報告書
- ・ 事故防止委員会
- ・ 災害発生時に、保護者への連絡及び子ども引き渡しを円滑に行うための訓練
- ・ 地域関係機関との連携

(11) 給食の推進

- ・ 保育園独自の管理栄養士による献立の作成、バランスのとれた栄養メニューの提供を図る。また、手作りおやつも週4回提供する
 - アレルギー対応についても保護者に必要書類を医師が記入してもらい代替え食の提供(0か100%の提供)
 - アレルギーのある園児の誤飲誤食を防ぐため、食器の色分けて提供
- ・ 食中毒等の発生予防に、調理する際に衛生面に配慮し、食材も厳選し安全を期す
- ・ 食育会議、検討会議をすることで、作る人の思いと食べる側の様子を話し合う
- ・ 食育年間計画に基づいて進めていく(絵本給食、姿勢、箸の持ち方等)
(別紙参照：Ⅱ)
- ・ 年度末2歳児は検食(味見当番)に参加

(12) 活動内容

- ・ 英語教室セイハ英語教室(3歳児、4歳児、5歳児)ネイティブ講師、日本人講師
- ・ 文字の練習(年長児)
- ・ 生け花教室(年長児)
- ・ 近隣の散歩(週2回)
- ・ 異年齢活動(隔週)

(13) 子育て支援

- ・ 個別の連絡帳(0歳児～2歳児)
- ・ 毎日クラスの活動(3歳児～5歳児)
- ・ 記録・ドキュメンテーションの掲示(つき1回全クラス)
- ・ ホームページの充実

(14) 保育実習

- ・ 養成校との連携の下、受け入れる
- ・ 中高生の希望があれば受け入れる
(インターンシップ・ナイストライ)

(15) 小学校との連携

- ・ 幼保小中連携会議
- ・ 保育園から就学先へ「保育所児童要録」を作成し送付
- ・ 気になる子、発達支援シートのある児の就学先からの訪問

(16) 関係機関との連携

- ・ 発達支援が必要な児の療育センターとの連携
- ・ 児童相談所、ウエルパル、との連携

(17) 職員及び担当

園長：八高雪枝
主任保育士：白柿清子
主任参事：江口弥穂
副主任：池田あゆみ
保育士：宮原智子 鶴田正美 柳原沙織 上村希 野田芙由絵 西村香里
古閑聖良 前田晏奈 尾里碧
前野朋子 渡邊チナミ
看護師：宮村美佐
事務：福田宏美
管理栄養士：徳永なつ美 三代ちあき
子育て支援員・調理師：亀井望美
子育て支援委員：成田奈々

(18) 職員の研修計画

(別紙参照：Ⅲ)

- ・ 園内研修を計画的に行う
- ・ 園外の保育園連盟、保育協会などの研修に職員を派遣する
- ・ キャリアアップ研修を受講する。
- ・ 全国私立保育研究大会県代表で発表（飛騨高山大会）

発表者：前田 晏奈 サブ：古閑 聖良
研修メンバー：鶴田 正美 池田 あゆみ 柳原 沙織

- ・ 毎日連絡会を行う
- ・ 専門分野勉強会（例：架け橋プログラムについて、保護者対応について等）

（19）役割及び内容

地域委員会

- ・ 地域の自治会に保育園での行事に参加してもらい交流を図る
- ・ 「一新子育てサークル」への協力

図書委員会

- ・ 保育園の絵本の貸し出し
- ・ 絵本の修理、絵本の入れ替え
- ・ 図書日より四季に合わせて掲示
- ・ 給食絵本との連携

事故防止委員会（マネジメント）

- ・ ヒヤリハット報告、事故発生時における対応・対策などを 2 か月に 1 度委員会を計り事故解明をしていく
- ・ 遊具点検の徹底

ホームページ

- ・ ホームページの内容についての検討会
- ・ クラスに写真の提供を依頼する

食育委員会

- ・ 子どもたちの食について栄養士・調理師・保育士代表それぞれの立場から意見を述べる
- ・ 子どもたちの食に対しての興味意欲を育てていく
- ・ 食育会議の後全職員に内容を回覧し自分の意見を記入する

令和 7 年度 年間行事予定

別紙参照：I

4月	入園・対面式 芋の苗植え 内科検診
5月	子どもの日会 親子おみしり遠足 個人面談 幼年消防結成式
6月	歯科検診 個人面談 保育参観 プール開き ピクニックの日
7月	七夕会 個人面談 保育参観 ピクニックの日
8月	保育参観 ピクニックの日
9月	個人面談 プレミアムディ(年長児)
10月	ふじっこ祭り 芋ほり遠足 保育参観 個人面談 運動会 人形劇 内科検診
11月	消防署見学(年長児) 保育参観 お菓子祭り(年長児・年中児) ピクニックの日 個人面談
12月	クリスマス会 生活発表会 ピクニックの日 影絵 個人面談 歳収め
1月	歳初め ピクニックの日 個人面談 交通安全教室 保育参観
2月	豆まき会 保育参観 個人面談 ピクニックの日
3月	ひな祭り会 卒園旅行 卒園式 ピクニックの日 お別れ遠足 幼年消防修了式 修了式

※ 毎月一回身体測定

※ 本物に触れる(楽器)

※ 年長児担任：前半・就学前面談

※ 園長：全園児の保護者と面談

令和7年度 会議・研修計画

別紙参照:Ⅲ

	職員会議	園内研修	園外研修
3月	職務分担・行事担当 室内環境(未満児・以上児)・子ども会議開催(子どもの日会) 食育会議	クラスの子どもの振り返りに ついて・個人目標(職員) 子ども会議についての振り返り 架け橋プログラムについて	
4月	親子おみしり遠足内容について 食育会議	保育参観について 危機管理について 地域委員会	
5月	保育参観内容 保健衛生 生会議 食育会議	図書委員会 自己評価	
6月	子ども会議(七夕会・プレミアムデイについて) 食育会議 運動会の内容子ども会議 開催	各クラスの状況 保健衛生(プール) マネジメント 子育て委員会	保育研究大会 全国私立保育研究大会(飛騨高山大会) 幼保小中連携会議
7月	運動会内容 食育会議	地域委員会	
8月	運動会内容 食育会議	図書委員会	
9月	子ども会議(発表会) 食育会議 運動会内容	地域委員会 危機管理委員会 職員面談	
10月	子ども会議(発表会) 食育会議	各クラスの状況 保健衛生	
11月	子ども会議(クリスマス) 食育会議	マネジメント 職員面談	
12月	子ども会議 食育会議	架け橋プログラム	
1月	食育会議	自己評価 行事の見直し	幼保小中連携会議
2月	食育会議	次年度計画 地域委員会 クラスの振り返り	
3月	食育会議	次年度計画 環境整備	

園外での研修、園内研修をしていくために計画をし、職員の質向上を目指していきたい。職員同士の小学校との接続もしっかりと行い卒園生の「登校しぶり」をひきおこさないようにスムーズ小学校に送り出していきたい。